



# 足立入谷小だより

令和5年2月1日  
足立区立足立入谷小学校  
校長 田村正弘



## どうする？ ○○

副校長 江幡 隆志

日本海側を中心に大雪に見舞われているこの頃ですが、そろそろ二十四節気の立春です。これからはゆっくり春に向かっていくはずで、アジア系観光客の訪日で、旧正月を迎えていることも実感するこのごろです。

ところでみなさんは新年の決意をされましたか。ほぼ1か月が過ぎて、その決意が崩れたりしていませんか。私自身は決意の崩れを感じて、新たな決意に改めることでリカバリーに努めている情けない日々です。

決意や決心を継続することは本当に難しいものです。まず、自分はその決定に見合う行動を今後とれるのか。自分自身の冷静な分析ができていなければなりません。また、さまざまな情報過多時代の今日では、決心をする段階のバイアス（＝現実とは異なるゆがんだ認識をしてしまうこと）にも注意を払わねばならないでしょう。

「みんなが・・・まわりが・・・だったし」「・・・が多いと聞いたから」「・・・って前からそういうものだよ」「SNSなどの評価が・・・だったから」などなど。決定前に本来検討すべき多くの客観的条件よりも、これらの影響が意外に大きいと言われていています。後悔の少ない決断の為には、かなりの冷静さが必要です。

考えてみれば、人生は決断の連続です。友達、恋人、結婚相手、相談相手といった人の選択。学校、会社など進路の選択。今何をし、次に何をすべきかの選択。これは時間や人生の使い方の選択でもありますから、かなり重たい選択です。これ以外にも何をかうか？どんな本を読む？今日の献立は何にする？テレビは何を見る？など小さいけれど、もしかすると後々に影響のある出会いを含む決断を短時間で行っているわけです。

みなさんは、NHK大河ドラマ「どうする家康」をご覧になっていますか。松本潤さん主演の今までと少し雰囲気異なるストーリーとなっています。設定は戦国時代から始まります。誰が味方で敵なのか。友人や親や兄弟でさえ、戦うことになった時代。誰を信じ、誰と共に進むのか。重い決断です。その上、時の勢力や戦況は刻一刻と変化します。その状況から未来を予測し、戦術と生き方を決定しなくてはなりません。絶対の正解などなかった時代です。そんなときに「どうする？」と周囲から決断を求められます。これは心がこわれそうです。

あなたは「どうする？○○」（○○にはあなたの名前を当てはめてみてください。）と尋ねられた時、その決定をどのくらいできそうでしょうか？それこそが「主体的に生きる」ことであり、その決定を支える知識や情報を得る努力をすることが「主体的に学ぶ」ということなのかもしれません。主体的な子どもたちの未来に幸あれ。

## 2月の主な行事予定

日	曜	行	事	スマ	16	木	クラブ紹介集会
1	水	B	委員会		17	金	仲良し班活動
2	木		節分集会		18	土	
3	金	B	とび箱出前授業(3) 劇団四季鑑賞(5)		19	日	
4	土				20	月	全校朝会
5	日				21	火	OP 国際理解教育(56)
6	月	5時間授業	全校朝会 歯磨きチェック		22	水	B っクラブ
7	火	OP			23	木	天皇誕生日
8	水	B4	午前授業		24	金	社会科見学(6) なわとび月間終
9	木		和太鼓集会 出前授業(3)		25	土	
10	金		安全指導点検 芸大連携 漢字検定		26	日	
11	土				27	月	B 全校朝会 保護者会(全)
12	日				28	火	
13	月	5時間授業	全校朝会				
14	火		「学校で朝ごはん」(123) OP				
15	水	B	クラブ				

※( )の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 OPはリビッパ仏実施日 スクールセンター配置日は水・金

## 1/13 校内席書大会(3~6年)



久しぶりに一同に会しての席書会。静まった体育館で、凜とした気持ちを筆に乗せて書いた文字は、どれもひと味違った書となったようです。日本の伝統のよさを再確認しました。

## 1/30 縄跳び月間スタート



北風を受けながら、それでも元気に跳び続ける子どもたち。きっと子どもたちの体はポカポカしていることでしょう。そして、それを見ている私たちも心があたたかくなっています。